

季美の森リハビリテーション病院

あす

病院理念「未来の暮らしを共に考え、治し支える医療へ」

たくさんの笑顔にふれあえる病院です。

当院は 2014 年 4 月に開院した、山武・長生・夷隅でも数少ない回復期リハビリテーション病院です。

「未来の暮らしを共に考え、治し支える医療へ」という理念のもと、医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、ソーシャルワーカー、介護福祉士等が連携し『運動機能の向上』『日常生活動作の向上』『社会復帰』を目指したチーム医療に取り組んでおります。

主な評価機器



GRAIL system

10台のカメラで歩行時の3次元動作解析を行い、客観的に歩行能力の評価を行います。



イージーテック

膝の筋力を測り、歩行能力や自立度の設定の評価を行います。



アイトラッキングシステム

課題遂行中の視線を客観的に評価します。



SRソフトビジョン

座っている状態や寝ている状態に偏りがないか評価を行います。



Inbody

身体の栄養状態を定期的に評価し、筋力や歩行能力などとの関係を見ています。



ドライブシミュレーター

脳損傷後の方を対象に、運転評価・訓練をします。また、運転補助装置を使用し、左上肢での運転評価が可能です。

主なトレーニング機器



上肢エルゴ・下肢エルゴウォーミングアップやクールダウン持久力の向上など、上肢・下肢バイクの用途は、多岐にわたります。



キネシス

全身の筋力・柔軟性・持久力をバランス良くトレーニングすることができます。



レッグプレス

下肢全体の筋力トレーニングを行うことができます。また、上半身を完全に倒したトレーニングも可能です。



ARKE

体幹やウェイトトレーニングを一カ所で行うことができ、いろいろなバリエーションを展開できます。



創造の丘
(リハビリ庭園)



当院QRコード▶

季美の森リハビリテーション病院

検索

<http://www.krh.jp>



夏季フィールドワーク企画書

1. サイト： 季美の森リハビリテーション病院
2. 住所：大網白里市季美の森南1丁目30-1
最寄り駅：大網駅よりバスで6分
千葉東金道路 山田I.C.より2分
3. ホームページ： <https://www.krh.jp/>
4. 実習担当者：医師 尾崎 尚人
5. 日時： 8, 9月の祝日を除く火曜日のうち任意の1日
8時30分～17時30分
6. 対象： 1～6年生
7. 受け入れ人数： 1日あたり3人まで
8. 目標：
 - ・ ADL, QOL 向上への医学的アプローチについて理解する
 - ・ 理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の職域について理解する
 - ・ 地域医療において、ADL, QOL 向上が果たす社会的な波及効果を理解する
 - ・ 在宅復帰、復職を目指す回復期リハビリテーション診療の概略を理解する
 - ・ 介護保険リハビリテーションの実際について理解する
9. 内容：

下記①～⑤の実習を行います。

* Tr: トレーナー PT: 理学療法士 OT: 作業療法士 ST: 言語聴覚士 RD: 管理栄養士

* 担当者と内容は一部変更の可能性があります。

* 下記①～⑤：各1時間程度です。



① 通所リハセンター体験 担当：PT 川村、Ns 夏原

実際の患者に交じって、通いのリハビリテーション治療（介護保険リハ）を体験いただきます。患者の「明日の暮らしを支える」在宅支援室の役割についても理解しましょう。

- ・通所リハビリテーション（デイケア）の概要説明
- ・認知予防プログラム（コグニバイク®、デュアルタスク）の体験

② 運動負荷試験と筋力測定（CPX+EasyTech®） 担当：Tr 白鳥、Dr 尾崎

心臓リハビリテーション治療において、運動耐容能（体力）や筋力の向上による「復職」は、就労人口の少なくなる地域だからこそ大きなテーマの一つです。

疾病者はもちろん、プロスポーツ選手にも実施する運動負荷試験、および膝伸展筋力測定（EasyTech®）を実際に体験いただきます。

③ 三次元動作解析（GRAIL®+VICON®） 担当：PT 斎藤

歩行再建による ADL 獲得は「在宅復帰」における最大の課題の一つです。理学療法士が行っている専門的な歩行解析を体験してみましょう。

当院を合わせて国内に 2 施設しか導入していない GRAIL®を用いて、連動する大画面ゲームをしながら三次元動作解析を行います。

④ 嚥下造影検査（VF）と嚥下調整食の実食 担当：ST 牛来、RD 齊藤、Dr 尾崎

「誤嚥性肺炎」は地域医療と切っても切り離せない疾患です。誤嚥性肺炎の診断と治療について 1 日だけ「プロフェッショナル」となってみましょう。

専門的な評価に使われる嚥下造影検査（VF）を実際に体験いただきます。また、「学会分類 2021」を用いた嚥下調整食とトロミ飲料を実食し、患者さんの気持ちになってみましょ

う。

⑤ 神経心理学的検査とドライビング・シミュレータ体験 担当：OT 水越

「自動車運転」は地域在住者にとって重要なテーマの一つです。脳卒中で病気になった後でも、安全に自動車運転を行うための専門的評価を体験してみましょう。

神経心理学的検査による評価の一部、ドライビング・シミュレータを体験し注意機能についての理解を深めましょう。

10. 宿泊施設の有無： 宿泊施設のご用意はありません。

11. 食事の準備： 昼食は当方で準備いたします。売店あり。

12. 学生へのメッセージ

五感を使ったリハビリテーション体験で、夏のささやかな非日常を楽しみましょう！

* **運動できる着替えと院内履き**をご用意ください。